

参州足助寿ゞ家 界隈芸術祭 2025

総合ディレクター
かとう さとる

1 彩の回廊

1. 22組のアーティストによるアート展
2. 6組のアーティストによる匠の伝統と創造展

2 奏と舞の宴

- 3組のアーティストによるアートパフォーマンス

3 交流の広場

1. アーティストによるアートマルシェ
2. 芸術祭に集う人たちが気軽に語らう交流カフェ
3. 地域で活動する映画人と演劇人による交流フェス
4. 多彩なゲストを交えた知と食の文化探求プログラム

4 記憶のキャンバス

芸術祭を参加者目線で記録する
フォトコンテスト



イベントは
公式HP参照

2025年12月
13日土-21日日
展示10:00-17:00

会場:足助の町並み寿ゞ家界隈
[豊田市足助町本町付近]

デザイン:石川泰弘 / からさわてるふみ:「昭和三十年頃の足助の町並み屏風図」より本町付近 ©安野亨

令和7年度足助地区わくわく事業

主催:参州足助寿ゞ家界隈芸術祭実行委員会 〒444-2424 豊田市足助町本町15(寿ゞ家内)

問合せ:E-mail: suzuya-kaiwai@outlook.jp / <https://suzuya-kaiwai.jimdosite.com>

參州足助寿々家界隈芸術祭2025

会場:足助の町並み寿々家界隈
2025年12月13日(土)-21日(日) 展示10:00-17:00

1 彩の回廊

寿々家(鑑賞券500円[共通])

	<p>本館</p> <p>1階 アート展 からさわてるふみ(画家・紀行作家)／伊丹三代志(立花師)／田原迫華(彫刻家)</p> <p>2階 アート展 なかむらひろこ(画家・民話採集)</p> <p>地階 アート展 紫乃～murasakino～(壊すアート)／梶 千春(立体造形)</p>
	<p>新館</p> <p>1階 アート展 新實広記(ガラス造形)</p> <p>1階茶室 匠の伝統と創造展 安藤源一郎(漆芸)／山岸大祐(陶芸)</p> <p>2階中屋根庇 アート展 鈴木琢磨(彫刻)</p> <p>2階アート展 安藤豊邨(書家)</p>
	<p>隅舎</p> <p>1階 アート展 石川泰弘(モダンアート)</p> <p>2階 アート展 伊丹靖夫(画家)</p>



2 奏と舞の宴

オープニングライブ アートパフォーマンス



12月13日(土)14時~

田中りえ(ダンサー)
岡村理恵(クラリネット)

スペシャルライブ



アートパフォーマンス

12月20日(土)14時

野々村明子(モダンダンス)
はちまん正人(ドラマチックピアノ)

ファイナルライブ



ファイナルライブ アートパフォーマンス

旧田口邸主屋(無料)

おくみせ [匠の伝統と創造展]
かのうともみひさし (小原和紙)

なかのま [匠の伝統と創造展]
俊寛 (切り絵師)

あぶらみせ [匠の伝統と創造展]
三州足助屋敷 (匠の職人) 匠の実演

おかげ [アート展]
楽房音戯山ユニット 大内紳治・兵藤光徳 (ミクストメディア)

おへや [アート展] 曽 剣雄 (画家)

あぶらみせ～土間～本町区民館 [スペシャルライブ]
野々村明子 (モダンダンス) /
はちまん正人 (ドラマティックピアノ) / はちまん正紀 (クラリネット)



本町区民館（無料）

地蔵小路(無料)



地蔵小路 [アート展] 物部浩子(書家)
地蔵堂 [アート展] 浦野友理(インスタレーション)
東の園 [アート展] 市川明徳(書家)
小路苑 [アート展] 田中敦子(ミクストメディア)

3 交流の広場

12月13日(土)・21日(日)を除く期間中開催。芸術祭に集う人たちが気軽に語らうたまり場。

アートマルシェ

誰でも気軽にアート作品に親しむことができるマルシェ

会場：彩の回廊本町区民館

交流カフェ

芸術祭に集う人たちが気軽に語らうたまり場

会場：寿々家(本館大広間)

映画・演劇交流フェス



地域で活動する映画人による交流フェス ディレクター／清水雅人(映画街人とよた代表)

- ◆1日目／12月15日(月)「おはよう家族」第1話 + 作品解説&地域アートとしての映画について
 - ◆2日目／12月18日(木)「おはよう家族」第2話 + 作品解説&地域アートとしての映画について
 - ◆3日目／12月19日(金)「おはよう家族」第3話 + 作品解説&地域アートとしての映画について
- 時間／19:00～20:30 ■定員／30名 ■参加／自由(当日直接来場)



地域で活動する演劇人による交流フェス ディレクター／石黒秀和(とよた演劇協会会長・脚本家)

- ◆1日目／12月16日(火) 演劇&対談「寿々家が見つめてきた100年の物語」
 - ◆2日目／12月17日(水) 演劇&対談「寿々家が見つめてきた100年の物語」
- 時間／19:30～20:45 ■定員／30名 ■参加／自由(事前予約優先)

文化探究プログラム

会場：寿々家(本館大広間)



第一夜「塩の道と三州足助」12月13日(土) 18:00～20:00

「塩の道と三州足助」は、名著「塩の道旅日記」をテキストに、車座になって塩の道と三州足助の歴史口マンを語り合う。

- ◆ゲスト／からさわてるふみ(「塩の道旅日記」著者・画家)
 - ◆座談／かとうさとる(参州足助寿々家界隈芸術祭総合ディレクター)
- 定員／30名 ■参加／自由



第二夜「ユネスコ無形文化遺産綾渡夜念佛と平勝寺縁起」12月14日(日) 18:00～20:00

「ユネスコ無形文化遺産綾渡夜念佛と平勝寺縁起」は、住職佐藤氏をお招きし、歴史口マンのある綾渡を深掘りする。

- ◆講師／佐藤一道氏(平勝寺住職)
- 定員／30名 ■参加／自由



第三夜「本と本屋と地域の力」12月20日(土) 18:00～20:00

「本と本屋と地域の力」は、活字離れが指摘される現代社会において、書店はどうあるべきか、私たちはなにができるか?

- ◆基調講演 刘永昇(風媒社編集長 / 名古屋市)
 - ◆パネリスト 刘永昇(風媒社編集長 / 名古屋市) 深見寿美子(マンリン書店 / 豊田市足助町)
 - 杉谷美奈(ゆたか書店 / 豊田市西町) 白名正和(中日新聞記者／「本屋さんへ行こう」連載)
- 定員／30名 ■参加／Webサイトより要予約



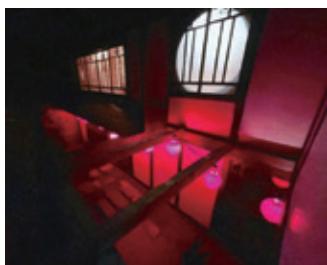
第四夜「イタリアワインとジビエのマリアージュ」12月21日(日) 18:00～20:00

イタリアワインのソムリエ・ワイン通訳として活躍する龜山絵美氏をコーディネーターにお願いし、芸術祭のフィナーレを飾る嬉しいプログラム ◆コーディネーター／龜山絵美(ソムリエ・ワイン通訳)

■会費／10,000円 ■参加／約20名(Webサイトより事前予約)

4 記憶のキャンバス

芸術祭を参加者のカメラアイで記録するフォトコンテスト。



応募作品は2026年に寿々家で開催されるフォトコンテスト展で展示。

応募資格:プロ・アマ・年齢を問わず自由。

応募規定:応募点数3点まで(プリント作品[A3まで]モノクローム・カラー・単・組写真等自由)

応募方法:作品1点につき一枚の用紙にお名前・作品タイトル・ご連絡先を記載したものを添付して次の住所に郵送。

参州足助寿々家界隈芸術祭実行委員会 〒444-2424 豊田市足助町本町15寿々家内

問合せ:E-mail suzuya-kaiwai@outlook.jp Tel.090-3851-7873 安野(アンノ)